

平成 28 年

第 1 回
教育委員会会議録

行橋市教育委員会

平成 28 年 1 月 26 日(火)

教育委員会会議録

- 1 招集日時
平成 28 年 1 月 26 日(火) 13 時 19 分～
- 2 招集場所
市役所303会議室 (3階)
- 3 出席委員
教育長 笹山 忠則
教育長職務代理者 末次 龍一
委員 水谷 知子
委員 金澤 精子
委員 大宮 克弘
- 4 欠席委員 無
- 5 出席職員等
山門教育政策課長
神原指導室長
小川文化課参事
大園教育政策係長
加治学校管理係長
村田生涯学習係長
- 6 教育長事務報告
別紙
- 7 議題及び議事の概要
別紙
- 8 閉会 14 時 3 分

平成28年1月26日

開議 13時19分

1 開会

○教育政策係長 大園健朗君

では、皆さん、お揃いのようなので、ただいまから平成28年第1回の定例の教育委員会を開催したいと思います。

今日は、教育部長の坪根と学校教育課長の中村、生涯学習課長の有松、文化課長の亀田が、公務のため出席しておりませんので、部長以外についてはそれぞれ、加治学校管理係長と、村田生涯学習係長、小川文化課参事が代理出席をしておりますので、よろしくをお願いいたします。

(各委員「よろしく申し上げます。」の声あり)

それと、今回新しい委員構成になりまして最初の教育委員会ということで、皆様もう御存知だと思いますけれども、平成27年12月25日付けで新たに教育委員に就任されました、大宮克弘委員です。よろしくをお願いいたします。

○委員 大宮克弘君

大宮です。どうぞよろしくをお願いいたします。

(各委員「よろしく申し上げます。」の声あり)

○教育政策係長 大園健朗君

それでは、教育長、よろしく申し上げます。

○教育長 笹山忠則君

それでは、定例の教育委員会を開催させていただきます。

新任の大宮委員を含めまして、全員御出席をいただきまして、ありがとうございます。

最初に、教育長は、教育委員の中から教育長職務代理者を指名することになっております。そこで、職務代理者といたしまして、末次委員を指名させていただきたいと存じます。差し支えなければ、このまま御承認をいただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

(拍手あり)

ありがとうございます。

○教育長職務代理者 末次龍一君

よろしく申し上げます。

○教育長 笹山忠則君

それでは、末次委員に教育長職務代理者を務めていただくことになりました。

2 前回議事録の承認

○教育長 笹山忠則君

引き続きまして、前回の議事録の承認であります。

まず、議事録に関しまして、もうお目通しいただいていると思いますので、これに関しまして、御質問、御意見等がございましたら、お願いいたします。
ございませんか。

(「ありません」の声あり)

それでは、これで承認いただいたと考えてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございます。では、会議録は、これで承認をいただきました。

3 教育長事務報告

○教育長 笹山忠則君 引き続きまして、式次第に従って、教育長の事務報告にまいります。

沢山ございますので、端折って申し上げます。ひとつは、教育委員の皆様方が同時に出席していただいている部分については、詳しくは申し上げませんので、飛ばさせていただきますことがございます。それから、私のほうで出席いたしまして、お知らせしたほうがいいものを、少しだけ説明を加えながら紹介させていただきます。

大園係長、どうぞ。

○教育政策係長 大園健朗君

1点だけ、すみません。教育委員の皆様にも事前にお配りしている教育長事務報告の中で、24日の子ども議会の記載があると思いますが、皆さん御存知のとおり延期となりましたので、削除をお願いします。

○教育長 笹山忠則君

それでは、本日配付の分は削除されておりますが、委員の皆さんにも事前にお配りしたもののについては、削除をお願いします。

それでは、1月5日に善行賞の受賞者の表彰式が市長室横の応接室でございました。ここでは、全国の善行会から表彰されるということで、こちらの方が表彰を受けられました。

それから8日は、蓮井さんとおっしゃって、ガラコンサートのリーダーの方であります。来年以降もガラコンサートをやりたいということで、教育委員会とも連携をさせていただきたいということで、また具体的な提案等もございましたので、しかるべきときに紹介させていただきます。

それから9日の日は、和光展と言って、書道塾の展覧会がございまして、そこで私と

堀県会議員の二人で表彰状を渡すという役割をいたしました。

それから、10日の成人式は委員の先生方に来ていただいております。これは後でニュースになったそうです。

12日には県のバレーボール協会の理事が来庁されました。これはビーチバレー等にかかわることで、挨拶に来られました。

それから、13日から15日にかけては、教職員の異動に関するヒアリングをおこないました。

それから、15日に家庭教育研修会が中央公民館でございまして、校長・教頭先生方、PTAの代表の方が参加され、ケータイ・スマホに関する内容で実施いたしました。

続きまして、17日から18日は研修で、委員の皆様方と一緒に豊後高田市にまいりました。

19日に教育長会議がございまして、京築教育事務所に出張いたしました。ここでは人事等に関して打ち合わせがございました。ICTとALTに関して、教育長だけの懇談会の中で話題になりました。

それから、同日に帰ってまいりまして、ライオンズクラブの会長が来られました。ここでは、薬物依存に対する啓発教育とか予防教育について講師を派遣しておこないたい、という申し入れがありました。これは検討させていただくというかたちになっております。それから、商工会議所の青年部の方が来られて、講演会をおこないたいので講演のバックアップをしてほしいということでありました。

21日は定例校長会であります。

それから子ども議会に関しまして、市長のヒアリングがございました。子ども議会という名称ではありますが、市長も教育長も通常の議会と同じように答弁をすることを予定しておりますので、通常の議会の答弁書を作成するにあたる手続きを、庁内的にこなっております。

それから22日は、マラソン大会の実行委員会がございました。そして同日昼からは、京築地区の中学校の校長会の研修会がございました。

23日は、泉校区で小学生・中学生・高校生の弁論大会がございまして、ここに出席して話を聴いてまいりました。

今後の予定につきましては、あす、定例庁議があります。

それから中国から上海国際サッカーユースがまいります。1週間ほど滞在いたしますので、その歓迎レセプションをおこないます。

それから30日は、京築社会教育主事等連絡協議会が築上町であります。これは記念式典に参加してまいります。

以上がかい摘んだかたちであります。教育長の事務報告であります。

もし補足説明等、必要でございましたら、おっしゃっていただければ、おこないます。
金澤委員、どうぞ。

○委員 金澤精子君

成人式のニュースと教育長さんがおっしゃいましたが、良いニュースだったんでしょうか、悪いニュースだったんでしょうか。

○教育長 笹山忠則君

たぶん良い宣伝になったかなと思うんですが。受け取り方がどうかなど。金澤委員も、おられたと思いますが、派手な衣装の子と一緒に私が写真を撮ったんです。そしたら、テレビ局が写真を撮っているところを取材に来まして、それで後で聞いたら、それが後日深夜の番組で放映されるということでした。

○教育政策係長 大園健朗君

その件に関しては、フジテレビのほうからDVDを送るという連絡がありました。

○教育長 笹山忠則君

そういうようなことで、比較的、今年はおとなしいということで、別に騒いだりすることはありませんでした。奇抜な衣装はありましたけれども、だからといって妨害するということもありませんし、自己主張の一部であるというぐあいに考えております。

彼らはずいぶんお金を掛けているんだなとは思いました。アニメの世界の侍みたいな恰好をしたり、いろんな衣装の人がおりました。

末次委員、どうぞ。

○教育長職務代理者 末次龍一君

教育長は式典が始まる前に会場の中を結構回って、若い人と話をされていましたよね。

○教育長 笹山忠則君

あの中で、テレビ局が見ていて、それで、後である人物を通じて、私が一緒に写真を撮ったのを放映しても構わないか、という問い合わせがありまして、別に構わない、というぐあいに申しました。そしたら放映したらしいです。

○委員 金澤精子君

あのときは小坪議員さんが写真を撮ってあげるよ、ということで、教育長さんが横に行かれたんですよね。

○教育長 笹山忠則君

そうですね。何であれ、あの試みで行橋をPRできるのであれば、私は積極的に利用したいと思いますので、どんな事態であってもマイナスではないと思っておりますので、引き受けております。

○委員 金澤精子君

ありがとうございます。

○教育長 笹山忠則君

ほかにありましたら。水谷委員、どうぞ。

○委員 水谷知子君

23日の泉小・中・高弁論大会なんですが、私が前回出席させていただいたときは、高校生は行橋高校の生徒さんだったんですが、今回は、どちらの生徒さんだったんでしょうか。

○教育長 笹山忠則君

今回も行橋高校の生徒が二人出ておりました。

○委員 水谷知子君

そうですか。前回、とても熱心な弁士の方が素晴らしい弁論をされて感動したんですが、今回はいかがだったでしょうか。

○教育長 笹山忠則君

今回も感動いたしました。第1番目、その人は本来最後にスピーチする予定だったんですが、部活の関係で1番目にやったので、私は聴けたんですけども、農業を通じての自己変革、そういう題だったんです。農業科の生徒で、農業実習をやったと。農業というのは、泥臭くて汚くて、というぐあいに思われているけれど、これは生命を育てる非常に素晴らしい営みだということに自分が気が付いたということ、具体例を挙げてやってくれました。

その具体例というのは、メロンを受粉の段階からずっと育てるということをやった。そしてまた教師がこういうぐあいに言ったということを紹介してくれたんですけど、何を言ったかという、このメロンが300円で売れるか1万円になるかは、君たちの努力次第だと。そういうぐあいに聞いて、それで自分は一生懸命にやっただと。そして実際には売らないんですが、売らなくて家に持って帰って、家族に食べさせたら、大変おいしいと言ってくれたので、大変自分も嬉しかったという話をしておりました。

ひたむきに一生懸命に自分の将来に向かってのキャリア形成をやっているなという感じを受けました。だから、この人たちは、ここに定着してくれる子どもたちだろうなというぐあいに思いました。

次の予定がありましたので、私はその一人だけしか聴くことができなかったんですが、後またぶんそういうような感じだろうと思います。

○委員 水谷知子君

ありがとうございました。

○教育長職務代理者 末次龍一君

校区でやっているのは、泉校区だけですよね。中学校でやっているところは結構あると思うんですが、たぶん校区としてやっているのは、古谷先生が中心となってやっ

るんじゃないかと思いますが。

○委員 水谷知子君

そうですね。

○教育長職務代理人 末次龍一君

僕も6、7年前に1回行かせてもらって、しっかり子どもたちがちゃんと練習して出て来ているんですね。立派な発表というか、もうだいぶん前ですから、内容は憶えていませんが、感動したのだけは憶えています。

○教育長 笹山忠則君

大変感動いたしました、その旨を、こんな内容だったというのを会合で市長に言いましたら、市長も、それは素晴らしいというぐあいと言って、自分も聴きに行きたかったと言っておりました。

○教育長職務代理人 末次龍一君

泉では、学校でもやっているんですか。

○委員 水谷知子君

はい。しています。

○教育長 笹山忠則君

では、これで教育長事務報告を閉じさせていただきます。

4 事務局報告事項

○教育長 笹山忠則君

それでは、引き続きまして、事務局の報告事項に移らせていただきます。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果についてであります。説明を指導室長にお願いいたします。

○指導室長 神原修一君

指導室の神原です。すみません、資料が本日の配付になってしまいましたが、お手元に3枚綴りの資料をお配りさせていただいております。

御承知のように、毎年、小学校5年生と中学校2年生を対象に、各8種目の体力・運動能力調査と質問紙による運動習慣、生活習慣等の調査を実施しております。その結果の概要につきまして、説明をさせていただきたいと思っております。

まず、福岡県と全国との差ということで、1枚目の下から、小学校男子ということで掲載しておりますが、小学校男子の平均値が本年度初めて県平均を上回ったということがございます。めくっていただいて、1枚目の裏に上から順に小学校女子、中学校男子・女子というふうにグラフを挙げております。

全国平均は、残念ながら下回っておりますけれども、3つの区分ともに見ていただい

たらお分かりのように、右肩上がりの状況で、子どもたちの県の数値も向上しているということで、対象の種目においてのみですけれども向上の傾向がみられるということで御理解いただければと思います。

2枚目以降につきましては、最初のほうに全国と県の比較を挙げさせていただいております。体格につきましては、小学校5年生女子が、県としては肥満傾向にあるということ、それから男子・女子の体力面の課題等も次に明記をさせていただいております。

質問紙による回答で、あくまでも県の全体のものですけれども、運動が好き・得意である・体力に自信がある、という項目については、全国平均を上回っておりますけれども、運動部等への所属率の低さ、1週間の総運動時間数が少ないという実態がございますので、自主的に運動に取り組んでいる割合は低いという結果が出ています。

家族と一緒にスポーツを観たり話をしたりという頻度が多いということですので、興味・関心は持っているのかなというふうに出ております。

3点目、健康が睡眠・運動・食事とつながっているという意識が県下的には低いという状況であります。女子も同様の状況が出ております。

学校的な課題としては、そこに3点挙げられているところであります。

小学校につきましては、行橋市の子どもたちの状況はどうかと言いますと、上体起こしとソフトボール投げにつきましては、全国平均を上回っている結果が出ております。女子は、そういった上回っている種目はございません。

その裏にいただいて、2枚目の裏でございしますが、全国平均を大きく下回っている種目は、男子が2種目、女子が3種目ということの結果が出ています。その下の表は、男女別に全国平均を下回っている種目ごとの学校差ということで、20メートルシャトルランでは、39回の差、それから立ち幅跳びについては22センチの差と、学校によって差が大きい種目もございます。

同様に女子につきましても、20メートルシャトルランと立ち幅跳びについては差が大きい、ということが見てわかるかと思えます。

市の小学校の運動習慣等の調査結果につきましては、下に述べておりますが、意欲的に活動している子どもが多いということ、それから運動習慣が定着している、また運動に対する意識が高い児童が沢山いる学校については、体力も高いという結果が出ている、ということが出ています。

最後でございしますが、中学校のほうです。まず県全体の状況でございしますが、肥満傾向につきましては、男女共がない、という結果が出ています。

体力面についての課題等は、そこに挙げられているところでございます。

生徒質問紙からの結果では、全県的には②に挙げておりますが、睡眠時間やゲーム・スマホの使用時間が適切であり、睡眠・運動・食事に対する意識も高いということで、

全県的に見れば、小学校よりも中学生のほうが、意識が高いということが言えるかと思えます。

女子につきましては、1時間の総運動時間数等、すべての項目で下回っているということ。それから、②、男子は意識が高かったんですが、女子は若干このあたりの意識が低いという結果が出ている状況であります。

同様のことが学校質問紙の中にも見てとれるんですけども、②ですね、健康と睡眠、運動・食事の関係について、計画的にきちんと伝えることができているのではないかと、ということが職員側の意見としても出ている状況でございます。

最後のページでございます。市全体の結果でございます。

男女ともに、握力・50メートル走については、全国平均を上回っております。プラス、男子は長座体前屈も上回っているという好結果が出ております。

下回っている種目は、男女ごとに3つ挙がっております。20メートルシャトルランにつきましては、小学校と同様に下回っているという状況でございます。

表は小学校と同様に、男女別に全国平均を下回っている種目ごとの学校差ということで、男子の立ち幅跳び、女子も立ち幅跳びで若干差が大きいですが、小学校に比べると学校間の差はそんなにないのかなというふうに捉えております。

中学校の運動習慣等の調査結果から見えることでございますが、自主的に運動に取り組む割合は低いということですね。部活動に入っている子どもたちが全体で7割程度いますけれども、そういう子どもたちは当然高いんでしょうけれども、自主的に取り組む割合は低い状況になっています。

次は、健康と睡眠、運動・食事の関係性については、大切だという意識は持っているけれども、これは学力状況調査結果の折にも触れましたが、テレビ視聴、ゲーム・スマホの使用時間が多いということが、この運動習慣等の質問紙からも見て取ることができるという状況でございます。

あとは、授業でのことが最後に記されております。概要でございますけれども、今年度の体力・運動能力等についての調査結果ということでございます。

○教育長 笹山忠則君

ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明に対しまして、御質問あるいは御意見等がありましたら、お願いいたします。

大宮委員、どうぞ。

○委員 大宮克弘君

小学校の体育というのは、これは専任の体育教員ではなく、担任の先生がおこなっているんでしょうか。

○指導室長 神原修一君

基本的に学級担任がおこないます。

○委員 大宮克弘君

中学校は専任の教師がおこなっているんですか。

○指導室長 神原修一君

はい。中学校は保健体育科の教師がおこないます。

ただ小学校も高学年につきましては、合同体育、2クラス一緒にとかいうことで、体育をある程度専門に学んできた教員がいる学校については、交換授業というかたちで、いくらか専門的な方がされる場合もありますけれども、原則は学級担任ということです。

○委員 大宮克弘君

中学校は専任の教員ということですね。ということは、この体育の授業が、いまひとつ面白くないという子が多いというのは、何故でしょうか。

僕は、子どものときに、勉強もしましたけれども、体育が一番好きだったんですよね。室長もそうだったかもしれませんが、体育の時間のほうが嬉しくて、夏なんかは雨が降るとプールに入れなくて、ものすごく悲しかった印象があるんですが、何ゆえ体育の授業が面白くないというところがあるのか。小学校は、学級担任がやる、中学校は専任の教師がいるということでしたが、そこのところの問題というのは、解析ができていんでしょうか。

○指導室長 神原修一君

子どもが体育のおもしろさを感じる時は、自分の思い通りに体を動かせたり、仲間と協力できたり、できなかったことができるようになったときなどです。ただ、自由に活動したり、外で走り回ったりするだけでは、一時的な開放感を味わうだけで、体育のおもしろさを味わっているとは言えません。調査で「体育の授業がおもしろくない」という子どもが少なからずいるということは、教師の体育授業の在り方に課題があるということです。小学校と中学校の先生の専門性の問題ではなく、子どもがおもしろいと感じる体育授業をいかに工夫できるかが大切なことであり、現時点では、まだ不十分であるということだと思います。

○委員 大宮克弘君

小学校5年生くらいで体育が面白くないというのは、ちょっと何か凄く悲しい感じがしますよね。

○教育長 笹山忠則君

末次委員、どうぞ。

○教育長職務代理者 末次龍一君

最近の子どもの興味の方向というのは、大宮先生よりも僕らのほうがもっと年が上か

もしれませんが、昔は体を使って遊ぶしかなかった。しかし今の子どもは、うちも男の子が二人いますが、上の子は体を使うのが好きだけれども、下の子はゲームが好きとか。

そういうゲームとかそういうのも若干やはり影響しているところもあるんじゃないかと。まわりがあんまり体を使って遊ばないから。そうすると自分もそういうふうになってしまうところもあるかもしれない。

だからまず体を動かすことに、やはり興味を持たせるような仕掛けか何かが必要なのもかもしれないですね。

○委員 大宮克弘君

そうですね。従来の体育の授業の在り方のままのかたちでは、もうちょっと時代に取り切れていないんじゃないかと、そういう面がありますよね。

○教育長職務代理者 末次龍一君

いろんな面で、そういうところがありますよね。環境が変わってきているので、いろんな面で、やっぱり従来のやり方を変えていかなければならないのかなと思います。

○指導室長 神原修一君

ただ、当然、学習指導要領は10年ごとに改定されて、最新の学習指導要領に沿ってやっていますので、単に技能面を伸ばすだけではなくて、やはり態度面とか、子どもたちがお互いに協力し合って取り組むということも一緒に学ぶようにもなっていますので、そういった部分で改善はされてきているとは思いますが、委員、御指摘のように、何らかのポイントで子どもたちがそういうふう実感している部分が、やはりあるんだろうなということは思います。

○委員 大宮克弘君

学級担任自体は、体育の授業をやるというのは、小学校では専任ではない方もおられると思いますが、学級担任が体育をやるのがいまひとつ好きじゃないとか、そういうケースはあるんですか。

○指導室長 神原修一君

学級担任の年齢層も幅広うございますので、そこはそうではないと信じたいんですけども、やはり中には、体育は少し苦手なんだよね、という意識をお持ちの先生もいらっしゃると思います。

○教育長 笹山忠則君

金澤委員、どうぞ。

○委員 金澤精子君

まず全国平均により近づいてきているというところには、何か学校現場の先生方のほうでは原因が分かっているんじゃないかということが1点です。

それと2点目は、この結果が出たことで、現場にまた戻すときの戻し方なんです、

これは先ほどのお話しでは、遅い時期に実施せよと。これは一番大事なところだけでも、体力ができてからと。でももっと他に大事な部分を現場におろさなければいけないんじゃないかなと思います。そこはどう考えていらっしゃるか、この2点をお尋ねいたします。

○指導室長 神原修一君

1点目でございますが、結果的に、学力も体力も福岡県の場合、全国平均を下回っている状況が続いておりましたので、学力と同様に体力も課題があるということは、いろんな場で言われてきております。中々市独自の取り組みというのは出来ていないんですけれども、県のほうからは、一校一運動ということで、全児童で取り組めるようなものを、各学校でひとつ選んで、それを毎日、中休みですとか、そういった時間を使って年間を通してやっていこう、ということに進んでいると思っております。

あとはやはり、こういったかたちで毎年おこなわれておりますので、学力と同様に、やはり先生方に、しっかりと体力をつけるということ、体力といろんなものとの関連とか、そういったものをしっかりと意識していただいて、授業に反映していただくということをお願いしているところでございます。

○委員 金澤精子君

私も教師の意識というか、そこが一番大きいポイントじゃないかなと思います。ありがとうございます。

○教育長 笹山忠則君

この件に関しましては、先ほど、教育長事務報告の中で、簡単にしか言わなかったところを補足させていただきます。

19日の教育長会議におきまして、県の事務所のほうから、こういう結果に関して指摘がひとつありました。それは何かと言いますと、ノー部活デーというのを設けるということに関してなんですが、ノー部活デーを設けるというのは、なぜかと言えば、要するに出ずっぱりになると、一つには子どもたちが勉強をする時間が減るだろうと、もう一つには教員が自己研鑽を積む時間が取れなくなって、部活動指導に追われる。これでノー部活デーというのをつくったほうが良いというぐあいに県のほうが言っているわけです。

しかし同時に、教育長さんの中から、こんな意見が出ました。県は片一方で学力向上を言っている。これが学力向上の中で、先ほども説明がありましたが、学力も県平均というか全国平均を下回っているわけです。それで学力を上げるということと、それからノー部活デーというものと、どういうぐあいに考えるのか、といったような質問が教育長さんから出ました。

県のほうとしては、その点に関する整合的な説明というのは必ずしもなかったという

ことであります。県のほうも模索しているんだらうと思うんですが、一つは、やはり学力を上げなければならない、基礎学力を上げなければならないという絶対的な使命がある。もう一つは、やはり生徒たちに意識というか、愛校心とか、あるいは団結心とか向上心、いろんなものは部活を通じておこなうということがありますので、部活に対して思い入れを沢山持っている先生方というのは、結構数多いわけで、そういうような中で、この両者の適切な関係がどうあるべきかというのは、まだ模索の途中みたいで、県全体としてはそういう事柄がございます。

別に今回だけの教育長会議で、これが言われたわけではなく、もう前から何回もそういう話は出ております。

また改めまして、市としてどう考えるかということは、別途、一緒に考えさせていただきたいと思います。

それでは、いまの体力・運動能力等に関する説明は、これで閉じさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」声あり)

では、次の議題に移ります。その他でございます。

その他のほうで、何かありませんでしょうか。

大園係長、どうぞ。

○教育政策係長 大園健朗君

教育政策課からですが、次回の教育委員会の日程なんですが、通常であれば、2月23日の火曜日か25日の木曜日を検討しておったんですけども、2月25日は福岡県が主催しております新任教育長研修会と教育委員の研修会がありますので、無理だということで、そして23日は教育長が昼から別の公務が入っております、この週は中々難しいところがありますので、1週早めることも含めまして、再度事務局のほうで検討をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

一つ前の週で、教育委員さんの中で、火曜日と木曜日を軸に考えたいと思っておりますけれども、御都合が悪い日にちがありましたら、お知らせください。

○委員 金澤精子君

火曜日は研修会の総合発表会という御案内が来ておりました。

○指導室長 神原修一君

16日は、教育長は午後、県の教育センターなので、外していただいたほうが良いと思います。

○教育政策係長 大園健朗君

わかりました。それでは2月18日を軸に調整をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

(各委員「よろしく申し上げます」の声あり)

○教育長 笹山忠則君

ありがとうございます。

それでは、その次の議事にまいりますが、議案第1号で掲げられておりますとおり、人事案件を今回は扱います。そのために今回の議事に関しましては、非公開でおこないたいと存じますので、御賛同いただければ、次の人事案件に関しましては、非公開とさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、次の議題に関しましては非公開ということですので、ここで録音等、記録は一旦閉じさせていただきます。

ありがとうございました。

閉会 14時03分